

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

## 【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

## 【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

## 【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

## 【演習の実施期間】

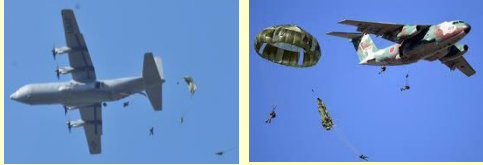
令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

## 【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

## 空挺作戦



## 水陸両用作戦



## 統合防空ミサイル防衛訓練



## 統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

## その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



## 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 大分県における訓練について

本演習において大分県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦(協同基地警備訓練、自由降下・空挺降下訓練)  
大分分屯地、日出生台演習場
- ② 統合後方運用(物資輸送訓練、港湾荷役訓練)  
大分港、別府港
- ③ 統合通信訓練  
八面山、唐木山

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

# 大分県内で実施を検討している訓練内容

## ①陸上作戦(協同基地警備訓練)

陸上自衛隊の部隊が自衛隊基地に展開し、各部隊による基地警備訓練、防護施設の構築訓練、小型無人航空機の飛行訓練を実施します。

なお、実弾は使用せず、小型無人航空機は人口密集地の上空を飛行しません。

【期 間】 令和7年10月20日(月)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】 自衛隊:陸上自衛隊(第4師団 第40普通科連隊、第19普通科連隊、九州補給処)



### 人数等

| 基地    | 展開する部隊            |
|-------|-------------------|
| 大分分屯地 | 第40普通科連隊等<br>約50名 |

### 訓練イメージ



警備訓練



防護施設構築訓練



小型無人航空機の飛行訓練

# 大分県内で実施を検討している訓練内容

## ①陸上作戦(自由降下・空挺降下訓練)

日出生台演習場において、陸上自衛隊の隊員が、航空自衛隊の輸送機(C-130H×1機)からの自由降下、航空自衛隊の輸送機(C-130H×1機、C-2×1機)からの空挺降下訓練を行います。

なお、訓練間、武器(小銃等)を携行し、空包を使用する予定です。

【期 間】令和7年10月24日(金)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊:第1空挺団(約300名)

航空自衛隊:第1輸送航空隊(C-130H×1機)・第2・3輸送空輸隊(C-2×2機)

### 訓練予定場所



### 訓練イメージ

空自C-130



空挺降下



空自C-2



自由降下



# 大分県内で実施を検討している訓練内容

## ②統合後方運用(物資輸送訓練)

北海道苫小牧港から大分県大分港（大分分屯地）までPFI船舶（ナッチャン）を使用した民間のコンテナトレーラによる弾薬輸送訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月20日(月)

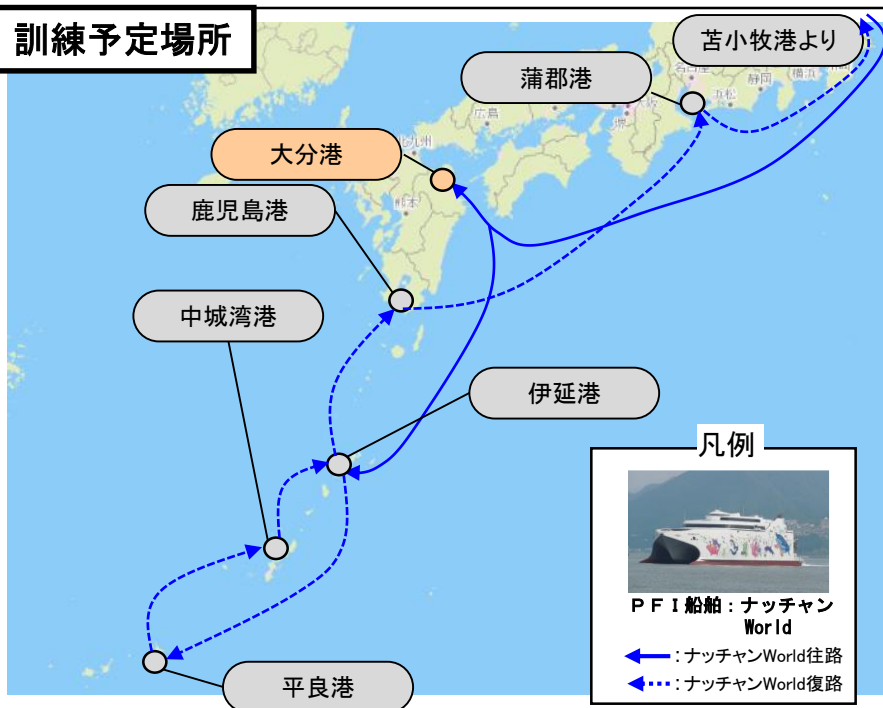
【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面輸送隊

【使用装備品】陸上自衛隊：民間コンテナトレーラ(弾薬・実弾)

その他：PFI船舶(ナッチャン)

【実施地域】大分港(他北海道、愛知県、鹿児島県・沖縄県の港湾を使用予定)

### 訓練予定場所



### 訓練イメージ



【PFI船舶：ナッチャン】

- ・10月17日(金)、苫小牧港において陸上自衛隊が取得したコンテナトレーラを積載します。
- ・10月20日(月)、大分港において西部方面輸送隊により車両を卸下します。
- ・卸下後、大分分屯地まで陸送します。

# 大分県内で実施を検討している訓練内容

## ②統合後方運用(物資輸送訓練)

民間船舶で装備品及び弾薬(実弾)を輸送する訓練を実施します。大分県では、大分港において、輸送訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月29日(水) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊:第5、第8地対艦ミサイル連隊

その他 : 契約船舶等

【使用装備品】陸上自衛隊:12式地対艦誘導弾

【実施地域】宮城県、大分県、鹿児島県

### 訓練予定場所



### 訓練イメージ

壱岐対馬フェリー：みかさ



陸自：12式地対艦誘導弾



- ・仙台港において民間船舶(壱岐対馬フェリー)に部隊(第4地対艦ミサイル連隊)及び装備品(88式地対艦誘導弾)を搭載します。
- ・大分港において同様に部隊(第5、第8地対艦ミサイル連隊及び装備品(12式地対艦誘導弾))を搭載します。
- ・これらの部隊、装備品は奄美大島(名瀬港)において卸下します。その後、陸自瀬戸内分屯地まで機動し展開訓練を実施します。
- ・訓練終了後、往路の逆順で各駐屯地に帰隊します。

# 大分県内で実施を検討している訓練内容

## ②統合後方運用(港湾荷役訓練)

大分港及び別府港において、海上輸送群の船舶を活用した装備品、補給品コンテナの積載・卸下に係る荷役訓練を実施します。なお、「港湾区域」外では訓練は実施しません。

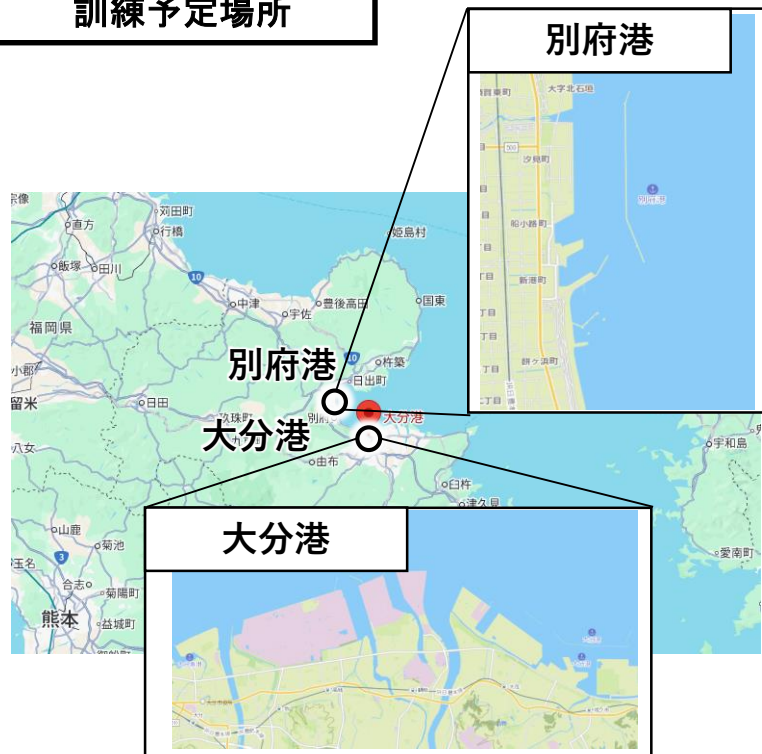
【期 間】令和7年10月19日(日)～10月25日(土) (調整中)

※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む

【参加部隊】海上輸送群(人数・車両数等調整中)

陸上自衛隊：中央輸送隊、中部方面隊、九州補給処、西部方面後方支援隊等(人数・車両数調整中)

### 訓練予定場所



### 訓練イメージ



コンテナの船舶への積載



大型クレーンを使用した荷役



コンテナの車両への積載



FH-70の積載訓練

# 大分県内で実施を検討している訓練内容

## ③統合通信訓練

陸上自衛隊の通信部隊が展開し、各部隊による通信訓練(無線・中継)を実施します。通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和7年10月18日(土)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む

※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】 自衛隊:陸上自衛隊(第4師団 第4通信大隊) 車両約6両 人員約20名

### 訓練予定場所



### 人数等

| 基地  | 展開する部隊         |
|-----|----------------|
| 八面山 | 第4通信大隊<br>約10名 |
| 唐木山 | 第4通信大隊<br>約10名 |

### 訓練イメージ



通信装置(中継装置)等の  
展開及び無線の送信